

(様式3)

会議の要旨（議事録）

会議の名称	令和5年度第2回 鳥栖市文化財保護審議会		
開催日時	令和6年2月29日(木) 13:30～16:00	開催場所	鳥栖市役所3階第1会議室
出席者数	委員7名 事務局7名	傍聴人数	0人
議題	1. 田代太田古墳落雷被害について 2. 村田八幡神社の肥前鳥居修繕について 3. 鳥栖市歴史・文化交流発信施設について 4. 陶山家住宅について		
配布資料	・令和5年度第2回 鳥栖市文化財保護審議会資料		
所管課	(課名) 教育委員会 生涯学習課 (3695)		

○教育長挨拶

議題1 田代太田古墳落雷被害について

〈事務局から説明〉

〈質疑応答〉

○装飾古墳について

委員：落雷についてどのような経緯で把握したのか、落雷により古墳への影響はあったのか。

事務局：雷は、送電線から古墳と隣接家屋へと分岐する分電盤に落ちたものとみられ、家主から九州電力へ連絡された。その後、九州電力から市教育委員会に連絡を受け把握した。古墳自体への被害はない。

議題2 肥前鳥居修繕について

〈事務局から説明〉

〈質疑応答〉

委員：鳥居表面の剥落による銘文への影響は。

事務局：以前から剥落している部分はあるが、今のところ銘文への影響はない。

委員：銘文の記録は取れているか、銘文の復元は行うのか。

事務局：銘文はすでに記録が取られている。文字の復元は行わない。

委員：銘文の説明はするのか。

事務局：すでに隣接する文化財解説看板にて銘文の説明を行っている。

委員：鳥居の石材は何か。

事務局：凝灰岩である。

委員：鳥栖市内にある他の肥前鳥居はどのような状態か。

事務局：轟木日子神社の肥前鳥居には剥落は確認されていない。

委員：今後も破損は進行していきそうか。

事務局：環境にもよるので、経過観察を続ける。

議題3 鳥栖市歴史・文化交流発信施設について

〈事務局から概要説明〉

〈質疑応答〉

委員：プロジェクションマッピングはどのようなものを上映するのか。

事務局：鳥栖市域の地形模型に1586年の勝尾城合戦の様子や、江戸時代の街道風景、近現代の鉄道が興隆する様を投射する。

委員：小中学生に見せたい内容のように感じる。小中学生が見学する機会があるような活用を検討してほしい。

委員：図書館展示との関係は。

事務局：図書館では主に勝尾城筑紫氏遺跡の常設展示と企画展示を行い、文化交流発信施設では、鳥栖の歴史・文化を知るガイダンス施設としての展示を行う。

委員：展示替えは行うのか。

事務局：今後活用を検討する。

議題4 陶山家住宅について

〈事務局から概要説明〉

〈委員からの説明〉

〈質疑応答〉

委員：『置き屋根』という構造は珍しいものか。

委員：特に珍しいというものでもないが、古風な手法である。

委員：陶山家住宅は、元は瓜生野村の庄屋屋敷と聞くが、蔵は郷蔵として使用されていたものか。

委員：蔵は町屋的な造りで、一般的なものである。昔は小作米の収蔵に用いられたとのこと。

委員：建築に用いられている『鉦滓レンガ』とは何か。

委員：製鉄の際に出る鉄滓を混ぜたレンガで、火災に強い特徴がある。昭和24年の改修で用いられたものと考えられる。

委員：庭の水路はどのような用途か。

委員：庭に関する記録は無いが、構造から新しいものと考えられる。庭の水路は池の水を流していたものとされる。

会長：これもちまして全審議事項を終了といたします。

〈閉会〉